

# H28年度 第2回物部川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：2月13日（月）14:00～16:30

場所：香美農林合同庁舎 1階大会議室

## 1 議事等

### (1) 地域アクションプランについて

#### 1) 物部川地域アクションプランの進捗状況等について

- ・第3四半期の進捗状況等について説明

#### 2) 平成29年度物部川地域アクションプラン（案）について

- ・削除1件、拡充等3件を含めた地域アクションプラン（案）について説明
- ・案について了承された

### (2) 産業振興計画の改定等について

#### 1) 第3期産業振興計画（Ver.2）の改定のポイントについて

- ・改定のポイントについて説明

#### 2) 平成29年度移住促進策のバージョンアップについて

- ・移住促進策の取り組み状況及びバージョンアップの内容について説明

#### 3) 志国高知 幕末維新博について

- ・志国高知 幕末維新博について説明

## 2 意見交換

### <地域アクションプランについて>

- ・地産外商の推進によりお金を得ることはもちろん大事なことであるが、この地域に来てもらって、食べていただくことによる波及効果は格段に大きいと考える。素晴らしい食材に恵まれた高知県の食による地域おこしをどう進めるかは物部川流域アクションプランの今後の課題になってくるのではないかと。

→例えば、農業分野では、南国市の還元野菜の取り組みと香南市・香美市のニラの取り組みを地域産業クラスターに位置付けて取り組むこととしている。農業生産を柱として、加工や観光につなげていくものであり、こうした取り組みに力を入れて取り組んでいく。

- ・(No.13 民有林における原木の増産) 原木生産の面では、大型製材施設及びバイオマス施設の整備により、これまでの非常に厳しかったところに少し明るさが出てきた感覚があるが、これからが大事だと考える。

- ・(No.12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業) ヤギミルクの生産体制の強化に向けて産振総合補助金が活用されているが、具体的に説明いただきたい。

→ヤギミルクの生産量拡大に向けて、産振総合補助金を活用し畜舎を増築することで、飼育頭数が現在の約50頭から200頭超に増加する予定である。ヤギミルクの販売はひまわり乳業が一手に引き受けており、売価は500mlで1,000円と高額商

品になるので、県外の高級高質系のスーパーなどをメインターゲットとして販売していくこととしている。

- ・(No.23 広域観光の取組の推進) 物部川流域の奥地に、小学生から高校生まで研修できるような施設を整備し、自分たちの地域にこうした森林があることを認識、あるいはPRをしてもらうといった取り組みをDMO協議会や(株)ものべみらいが展開してくれることを望む。
  - べふ峡温泉はもともと研修等に活用していただくことをねらった施設のため、研修室を構えており、近くには体験実習館もある。
  - DMO協議会、(株)ものべみらいの取り組みは、観光を主体とした地域の活性化ということになるので、研修施設の整備といった教育分野にまでわたる構想は今のところはないが、DMO協議会の会議の場で、そうしたアイデアを出していただけたらと思う。

#### <産業振興計画の改定等について>

- ・移住実績について、物部川地域の12月末実績(21組・25人)が他地域と比較すると非常に少ないが、この原因と対策を何か考えているのか。
  - この21組というのは昨年度の12月末現在と同じ数字であり、落ち込んでいるわけではない。当地域は高知市にほど近く、街の部分、里の部分、山の部分を有する味わいのある地域であり、相談者には人気の高い地域である。これから、例えば地域おこし協力隊などで転入してくる方もいるかと思うので、あまり悲観することはないと感じている。
- ・地域おこし協力隊の3年間終了後の地元への定着率はどのくらいなのか。
  - 高知県は全国平均よりも少し高く、7割弱の方が定着している。
- ・全国と比べたら高いかもしれないが、もっと多くの人に残ってもらうべきではないか。
  - 自分が思っていた役割と地域から求められている役割がマッチしない場合というのがまれにある。そのズレを修正可能な場合には残っていただけるだろうが、ズレを埋めきれない場合もあるので、そうしたことが定着率に表れていると感じている。

#### ■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課(地域産業担当)

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp